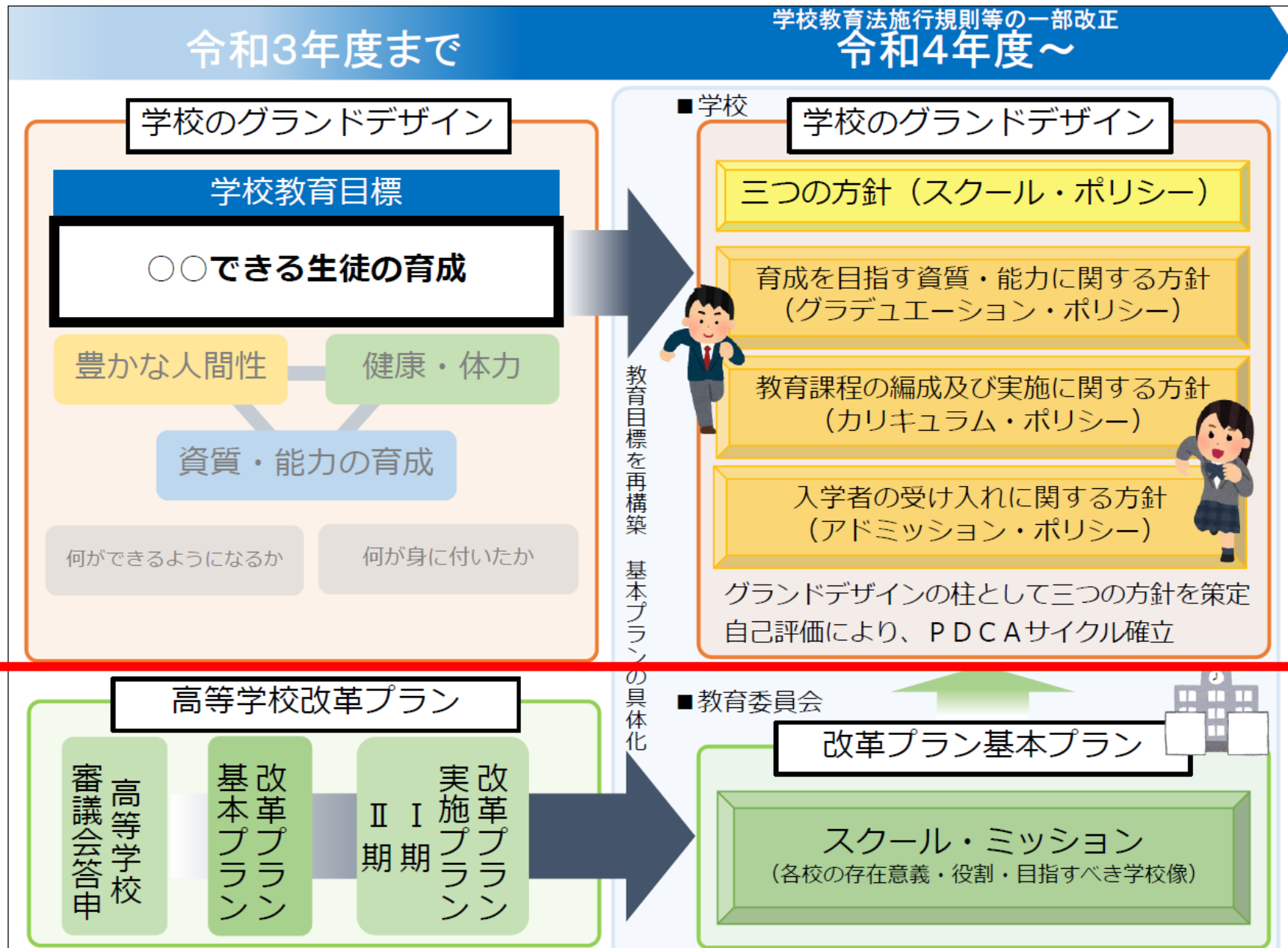


1 はじめに



茨城県高等学校審議会 (H29～H30)

～人口減少をはじめとする様々な社会の変化に対応した活力と魅力ある学校・学科の在り方について～ (高校審議会諮問事項)



県立高等学校改革プラン 基本プラン (2020～2026)

【基本的な方向性】

- 「地域の中の学校」として、地域の人財を地域で育成
- 新たな価値を創造する「起業家精神」を育成

高い志や意欲を持った自立した人財

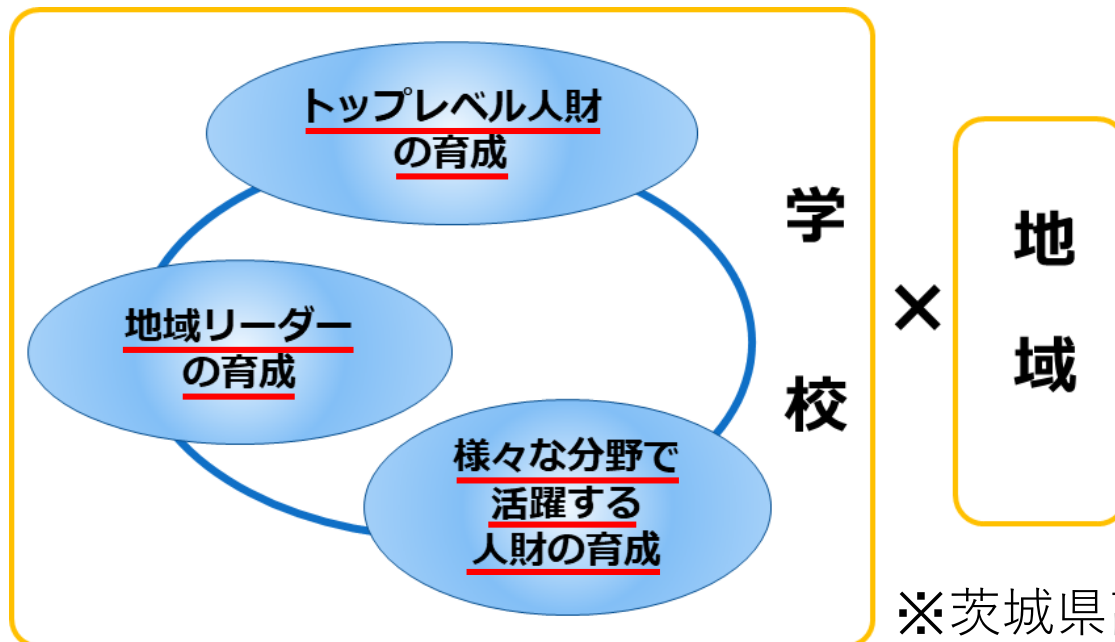
これからの県立高等学校が果たすべき役割

- 「地域の中の学校」として、地域の人財を地域で育成
- 新たな価値を創造する「起業家精神」を育成



『活力があり、県民が日本一幸せな県』（茨城県総合計画）の実現

〔2030年を見据えた県立高等学校の役割〕



※茨城県高等学校審議会答申

〔教育イメージ〕

育てたい人財

・ 大きく変化した社会

〔A I 技術の発達，産業構造の変化，働き方改革〕

・ 様々な社会の課題

〔貧困，教育，水・衛生，エネルギー，イノベーション，気象変動等〕

・ 安心・安全な生活基盤づくり〔医療，福祉，治安，防災等〕

・ 地方創生や魅力度向上〔まちおこし，観光等〕

に対応し
社会を動かせる人財

身に付けさせたい能力

- ・ 文章や情報を読み解き対話する力
- ・ 科学的に思考・吟味し活用する力
- ・ 価値を見つけ生み出す発見力，探究力，実行力

主な教育内容

- ・ 主体的な学び（各教科・分野）
- ・ 課題解決型学習（地域参画型）
- ・ 企業体験，学校外での体験活動
- ・ プログラミング教育
- ・ 実践的な英会話

3 スクール・ポリシーについて

令和3年度まで

学校教育法施行規則等の一部改正
令和4年度～

学校のグランドデザイン

学校教育目標

〇〇できる生徒の育成

豊かな人間性

健康・体力

資質・能力の育成

何ができるようになるか

何が身に付いたか

■学校

学校のグランドデザイン

三つの方針（スクール・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針
（グラデュエーション・ポリシー）

教育課程の編成及び実施に関する方針
（カリキュラム・ポリシー）

入学者の受け入れに関する方針
（アドミッション・ポリシー）

グランドデザインの柱として三つの方針を策定
自己評価により、PDCAサイクル確立

教育目標を再構築

基本プランの具体化

高等学校改革プラン

審議会
高等学校
答申

改革
基本
プラン

Ⅱ期

改革
実施
プラン

■教育委員会

改革プラン基本プラン

スクール・ミッション
（各校の存在意義・役割・目指すべき学校像）

茨城県立高等学校等 「三つの方針」 記入例

三つの方針（スクール・ポリシー）	記入例
「育成を目指す資質・能力に関する方針」 （グラデュエーション・ポリシー）	○学校経営計画表の「目指す学校像」等に対応 例：①国内外で各分野のトップリーダーとして活躍する、未来を牽引できる人財 ②地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人財 ③意欲をもって学習や学校生活に取り組み、主体性や社会性を身に付けた、社会に貢献できる人財
「教育課程の編成及び実施に関する方針」 （カリキュラム・ポリシー）	○学校経営計画表の「中期的目標」等に対応 例：①県内の学習指導、進学指導を牽引するリーダー校として、学力向上の推進、難関大学及び医学部志望者の進路実現 ②生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育課程による、就職から大学進学までの進路希望実現 ③生徒一人一人の多様な学習ニーズに対応した学習活動とキャリア教育による、生徒の進路希望実現
「入学者の受入れに関する方針」 （アドミッション・ポリシー）	○各学校の「スクールガイド」等に対応 例：①人文科学、社会科学、自然科学など様々な分野に興味を持ち、深く探究しようという強い意欲のある生徒 ②国際的な諸課題に関心を持ち、英語等の言語の習得及び異文化理解に努める生徒 ③自分の進路実現を目指し、日々努力する生徒 ④学校や社会の規範を守って日常生活を送ることができ、学校行事、生徒会活動、部活動などに積極的に取り組む意欲のある生徒

県立高等学校改革プラン

～人口減少をはじめとする様々な社会の変化に対応した活力と魅力ある学校・学科の在り方について～（高校審議会諮問事項）

県立高等学校改革プラン 基本プラン (2020～2026)

【基本的な方向性】

- 「地域の中の学校」として、地域の人財を地域で育成
- 新たな価値を創造する「起業家精神」を育成

高い志や意欲を持った自立した人財

実施プランⅠ期 (2020～2023)

県立高等学校の魅力づくりを推進

第1部
(2020～2022)

中高一貫教育校設置

第2部
(2021～2023)

学科改編等

実施プランⅡ期

(2024～2026)

高等学校同士の
共同の学びを推進

10校（併設型9校・中等1校）

サイエンス・IT・外国人支援

実施プランⅠ期（第1部）の実施内容

中高一貫教育校の新設

県内各地域で
中等教育の多様化を推進
「地域の中の学校」
中心的役割

※○数字は学級数
※（ ）内の○数字は、併設型中学校から進学する学級を含めた、学年全体の学級数

《2020年度開校》

対象校	改編内容	募集学級数等 *予定
太田第一 鉾田第一 鹿島 竜ヶ崎第一 下館第一	併設型中高一貫教育校 ・併設型中学校① ・併設型高等学校⑥ (太田第一は⑤)	2020～2022年度選抜 ⇒中学校①, 高等学校⑥ ※太田第一⑤ 2023年度選抜～ ⇒中学校①, 高等学校⑤ (⑥) ※太田第一④ (⑤)

《2021年度開校》

対象校	改編内容	募集学級数等 *予定
水戸第一 土浦第一	併設型中高一貫教育校 ・併設型中学校② ・併設型高等学校⑥	2021年度選抜 ⇒中学校②, 高等学校⑦ 2024年度選抜～ ↓ 段階的に学級減 ⇒中学校②, 高等学校④ (⑥)
勝田	中等教育学校 ・前期課程③, 後期課程③	【中等教育学校】 2021年度選抜～③ 【高等学校】 2020年度選抜④ 2021～2023年度選抜③ 2024年度～募集停止

《2022年度開校》



対象校	改編内容	募集学級数等 *予定
水海道第一 下妻第一	併設型中高一貫教育校 ・併設型中学校① ・併設型高等学校⑥	2022～2024年度選抜 ⇒中学校①, 高等学校⑥ 2025年度選抜～ ⇒中学校①, 高等学校⑤ (⑥)

地域の小中学校
⇒ 交流

実施プランⅠ期（第2部）

AI・IoTなど科学技術の進展やIT人材の不足、日本語を母語としない生徒の増加といった、社会の変化や地域のニーズに対応

※○数字は学級数

対象校	特長	改編内容等
つくば工科	大学・研究機関と連携したサイエンス専科高校	機械科① ロボット工学科① 電気電子科① 建築技術科①  科学技術科⑥ 【分野・領域】 <数学・物理分野> ロボット・機械領域 電子・情報領域 建築デザイン領域 <化学・生物分野> 化学・生物領域
友部	全国初のIT専科高校	普通科③ 全日制課程  IT科② 定時制課程昼間2部制 （午前の部・午後の部）
石下紫峰 結城第一	柔軟な学習支援で外国人生徒へのサポート強化を目指す県内初の学校	主な実施内容 [外国人生徒等に応じた学習支援 円滑な学校生活のための支援 外国人生徒の特例入学者選抜の拡充]

